



さいと

市議会だより

第114号

令和5年11月1日発行



総務委員会行政調査

西都市議会では各委員会の活動として先進事例の視察や要望活動を実施しています。

活動内容等については、今後、議会だより等を通じて発信していきます。



文教厚生委員会行政調査



新田原基地対策調査特別委員会 防衛省要望

●9月定例会の概要●

令和5年第3回定例会は9月1日に招集。9月29日までの会期で市長提出議案31件、議員提出議案1件、報告案件4件、陳情1件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決（うち1件は同意、1件は適任、14件を認定）としました。議員提出議案1件は原案否決に、陳情1件については不採択としました。

主な掲載内容

- ◎一般質問 …P2~5
- ◎委員会審査概要 …P5・8
- ◎議案審議結果 …P6~7
- ◎陳情審査結果 …P8

西都市議会
ホームページ

ホームページ
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ

ダウンロードは
はこちらから↓



さいと市議会だよりを
アプリで配信中!

防災減災対策、不登校・引きこもり児童生徒支援について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



問① 防災・減災対策について
令和4年9月の台風14号における被害状況について伺う。

答 住宅被害、全壊1棟、半壊2棟、床上浸水68棟、床下浸水21棟、農業被害総額約8億9千万円、公共施設等の被害額は、総額約5億円になる。

問② 九電からの連絡を受けての消防本部の対応を伺う。

答 九電からダム放流の連絡を受けた際、それぞれを管轄する消防団各部の部長及び分団長に連絡をし河川巡視、水位状況の監視、必要に応じての樋門操作を依頼したい。

問③ 当日、樋門を閉めるのは危険なため、閉めないことを判断したのは誰なのか伺いたい。

答 夜間暴風雨の中であることから、樋門操作を行う消防団員の命の危険性が非常に高く、二次災害防止の観点から、災害対策本部長（市長）の判断で、指示したものである。浸水等の被害が生じたことについて、責任を感じている。災害対策本

部長（市長）として、消防団員の命を守る事を最優先に考え、判断したものである、ご理解をいただきたいと考えている。

問④ 桜川樋門における、現在の進捗状況について伺う。

答 西都土木事務所によると、現在、浸水状況シミュレーションと樋門改修基本設計をコンサルタント業者に発注している段階で、現時点においては、樋門改修の明確な見通しは立っていないことである。

問⑤ 不登校・引きこもり児童生徒支援について

答 西都市教育センターに教育相談窓口を設置し、児童生徒、保護者を教職員がいつでも相談できる体制を整備している。また、本年度より、本市独自でスクールソーシャルワーカー

を任用し、福祉事務所、児童相談所など、関係機関との連携を密にしなから、不登校児童生徒の改善に尽くしている。

問⑥ 教育長の教育方針を伺う。

答 不登校生徒数は年々増加傾向にあり、今後解決すべき大きな課題である。ICT機器の積極的な活用など、学力をはじめ将来、社会で自立するための力をつけていきたい。

西都児湯医療センターについて、未来のための分析、NIEの取り組みについて

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



問① 医療センター令和4年度を市長はどう評価するか伺う。

答 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関の指定種別を重点医療機関に引き上げられたことは評価する。経常損益は新型コロナウイルス感染症関連補助金に大きく依存しているし、新病院に向け経営改善及び安定化と、脳神経外科や呼吸器内科等の常勤医確保、診療機能の充実、経営安定化について努力と改善を求めた。

問② 西都児湯二次医療圏内自治体との連携について伺う。

答 西都児湯市町村連絡調整会議が初めて開催され、医療センターの長田理事長に現状や今後のあり方について講話していただいた。二次医療圏の中核的医療機関として、災害拠点病院としてのセンターの重要性について理解が深まったと考える。

問③ SWOT分析とは、どういった分析か伺う。

答 内的要因の強みと弱み、外的要因である機会と脅威の4つの要素で目的達成のための要因分析を行う

手法である。

問④ 西都の強みは宮崎市へ時間的距離が近い、土地が安い、中学校再編、インターチェンジがある、古墳時代、国府跡など歴史が豊か、農畜産が盛ん、自然豊か、津波の心配なし、西都原、登り窯、夢たまご、早期に自転車のみちを打ち出したなどがある。そこに外的機会を予想する、それは宮崎市への人口集中、DX化、AIの発達、円安による外国人旅行者増、SDGs、日本遺産サミット、国民スポーツ祭開催、脱炭素の波などである。それを分析して、西都づくりに邁進してほしい。市長の考えを伺う。

答 様々な視点からアイデアを出しそれを具現化していく必要があると考える。「抜群に住みやすいまち西都」の実現を図りたい。

問⑤ NIEの取り組み、計画について伺いたい。

答 NIE教育は大変有効なものと考えている。先進的に取り組んでいる教職員もいるので各学校の取り組み情報を共有しNIEの推進を図っていききたい。

問⑥ 中学校再編が行われる。この機会に新聞の日という事業を前向きに進めてほしい。考えを伺う。

答 新聞社との連携した取り組みが可能であるか、引き続き研究していきたい。

デジタル変革宣言、ふるさと納税、教育行政について

葵の会 森 祐子



動画はこちらから↓



問③ 教育行政について

イ 榎本新教育長の基本方針について伺いたい。

答 知識偏重型ではなく探求的な学びで未来を切り開き主体的に対応できる力を身につける必要がある。「さいと学」にも、これまで以上に力を入れていく。伝統文化や歴史遺産等の継承活動や郷土の偉人についての学びも積極的に取り組んでいく。

問① デジタル変革宣言について

イ 市民に与えるメリットは。

答 大きな課題。市内共通テストの作成と結果分析を行い目指すべき姿を教職員間で共有し指導改善を図りたい。

問② ふるさと納税について

イ 2022年度実績額と、2023年度の目標額は。

答 実績額は23億6025万5千円、目標額は25億円を予定している。

問① デジタル変革宣言について

イ 市民に与えるメリットは。

答 電子申請や窓口のワンストップ化などの負担軽減と、高齢者向けスマホ教室などの施策を推進し利便性の向上を図りたい。

問② ふるさと納税について

イ 2022年度実績額と、2023年度の目標額は。

答 実績額は23億6025万5千円、目標額は25億円を予定している。

公共施設の再利用、利活用、商工観光業の復興対策について

新風創生会 村上 修乗



動画はこちらから↓



抑えていくこととしているが令和元年度から令和4年度の各年度の実績を伺いたい。

答 令和元年度から令和4年度における建物系施設の長寿命化等に係る更新費用の実績について令和元年度が8億5041万3千円、令和2年度が29億5704万3千円、令和3年度が23億8523万6千円、令和4年度が7億5353万5千円で単年度平均17億3655万7千円となり基本方針に記載された7億7千万円と比較すると大きく上回っている状況である。

問① 平成29年3月に策定された「西都市公共施設等総合管理計画」においては本市における建物系公共施設の多くは昭和60年前後に建てられており一般的に大規模改修が必要とされる築30年を超える施設は61%を占めており今後の厳しい財政運営を考慮し保有数量の削減、長寿命化、管理コストの削減等により今後40年間の更新費用を35%削減することとしている。そこで令和元年度から令和4年度における各年度の施設の統合、廃止について伺いたい。

問② 次に総合管理計画では長寿命化等の更新費用について計画策定前の5年間平均の7億7千万円程度に

答 この4年間にについては新庁舎の建設及び旧庁舎の解体を行った。それ以外の主なものは、令和2年度に「山村憩いの家しろみ」及び「杉安保育所」「上三財保育所」「山田保育所」を廃止し令和3年度に「都於郡小学校山田分校」を統廃合している。

問③ 次に令和2年度から商工観光業者への支援や経済活性化対策実施されているが市単独の支援策等の実施状況と、その効果を伺いたい。

答 令和2年度は飲食サービス宿泊業等事業継続給付金をはじめ、持ち店舗事業継続給付金など10事業、令和3年度は安全安心宣言認定飲食店支援金など6事業、令和4年度は事業者経営継続給付金など8事業を実施した。短期的な視点においては給付金等即効性のある事業を投じたことで売り上げが減少した事業者の事業継続を支援することができたと考えている。

答 地域の大人と生徒が直接意見交換する場を設けたい。関連する市役所各課の職員と意見交換する場を設けることも検討したい。

二 「さいと学」での学びがより具体化したものとして地域と連携した取り組みがあるのか伺いたい。

答 中学校での「さいと学」は妻高校の「妻みらい塾」へ引き継がれており、「妻みらい塾」では実際に事業としての予算確保と実践により地域活性化を目指した取り組みが行われている。

答 関係課と緊密に連携を図り促進に努めたい。

2つの裁判に対する市長の政治姿勢について

新風創生会 中武 邦美



動画はこちらから↓



う。また損害賠償請求は現在のところ考えていない。

問③ 医療センター濱砂前理事長解任処分に係る訴訟では「解任の行政処分は違法」とする西都市の全面敗訴の判決が確定した。この裁判に要した弁護士の手金等の費用は、総額いくらかになるのか。

答 弁護士着手金は、一審、控訴審合わせて77万円、その他、弁護士報酬金77万円、日当52万8千円等、費用合計は211万7500円である。

問④ この裁判は多額の公金を使い市民に対して損害を与えたと思うが、市長はどの様に受け止めているのか。

答 損害を与えたかどうかについては賛否両論あるので、多くの方の意見をいただき総合的に判断したい。

問⑤ 5月以降、医療センターの医師確保について、橋田市長、長田理事長は具体的にどの様な活動をされてきたのか。

答 5月以降の医師確保については長田理事長にご尽力いただき、宮大医学部を中心に医師確保に努めている。医療センターからの相談は受けているが、現時点では具体的に報告できる状況ではない。

解任処分は違法との判決を受け、謝罪と給与の減給処分を

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



問① 濱砂前理事長に対する「解任処分取消請求事件」について

イ 濱砂前理事長に対する解任処分は「裁量権を逸脱した違法なもの」との判決を受け、前議会で前理事長に対する謝罪と給与の減給処分を提案した。検討の結果は。

答 謝罪は考えていない。給与の減給処分は、他の事例を参考に総合的に判断したい。

ロ 「違法行為」とする判決は認められるのか。

答 第一審の判決が確定したことは事実であり認める。

問② 長田理事長が医療センターの理事会で「橋田市長から指名があつて病院長を兼務した理事長をやってくれと言われたので引き受けた」との発言について指摘した。「後で議事録を確認してみたい」とのことであつた。いつ確認し、どのように対応されたのか。

答 6月議会後、議事録を確認した。ご指摘の「院長兼務を命じられた」とについては、長田理事長の認識誤りがあつたとのことで謝罪を受けた。

けた。

問③ 医療センターの医師確保と脳外科医の復帰について

イ 医療センターの医師確保の取り組みの現状は。

答 医療センターから相談を受けているが、現時点では具体的に報告できる状況ではない。

ロ 脳外科医の復帰の見通しは。

答 先生にも御事情があるので、明確にお答えできる状況にはない。

ハ 医師確保の権限、責任は、理事長、それとも市長にあるのか。

答 医師確保の任命権及び責任は、理事長にある。市長には、設立団体の長として責任がある。

問④ 災害対策について

イ 堀之内川樋門のオートゲート計画は予定通り進められるのか。

答 令和6年の出水期までの完成を目指しているとのことである。

ロ 桜川樋門改修計画には排水ポンプの設置も検討されているのか。

答 排水ポンプ施設の設置は含まれていないとのことである。

問⑤ 「抜群に住みやすいまち西都」実現のためにも文化振興条例の制定を提案したい。

答 条例制定を視野に、今年度文化振興ビジョン策定に取り組む。

「社会の変化に柔軟に対応できる施策の概要」

結の会 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



問① 高齢者保健福祉計画の策定に向けての課題を伺う。
答 DX推進により社会がデジタル化する中で、高齢者が取り残されない取り組みも必要。
問② 災害時のボランティア活動を円滑に進める資機材の保管や収納の状況を伺う。
答 災害ボランティアセンターでの一括管理ではなく、市が管理する倉庫などへの分散管理である。
問③ 次世代農家の育成への取り組み状況を伺う。
答 新規就農者定着の整備をはじめ、相談から研修、就農まで一括した支援を継続する。
問④ 県外の養豚場で発生した豚熱。本市での対策や支援策を伺う。
答 発生防止対策の徹底を図り、養豚農家への消毒薬や消石灰の配布を計画。今後、国の方針や動向も注視する。
問⑤ 学校給食センターの歴史および現状と課題を伺う。
答 センターは築後36年が経過。施設の老朽化や修繕費が年々増加している。
問⑥ 小中学校の給食の時間にランチミーティング(市長や教育長に議長)をしてはどうか伺う。
答 給食を通し、直接児童生徒との

意見交換で感じえるものは多々あり、大変有意義な機会。関係各課や校長会と協議を行う。
問⑦ メンタルヘルス不調職員に対する労務管理を伺う。
答 心の健康づくり計画に基づき、対応や支援を行っている。
問⑧ 職員の綱紀の保持および服務規律に対する市長の基本姿勢を伺う。
答 公務員としての義務と責任の自覚倫理の保持、公正な職務遂行と市民の行政に対する信頼が得られるよう規律の遵守を周知している。
問⑨ 一般会計等が将来負担すべき負債の割合を示した将来負担比率について伺う。
答 概ね健全な財政運営がなされている。
問⑩ 自主財源の確保および拡充への取り組み状況を伺う。
答 歳出改革に加え、積極的な特定財源の確保など財政運営からも適正な予算編成に取り組んでいる。
問⑪ 在宅療養者・高齢者・障害者などへの訪問歯科診療の現状について伺う。
答 市内では現在、6つの歯科医院が訪問歯科診療を実施している。
問⑫ 西都児湯医療センターの現状を踏まえ、今年度の業務運営はどう推測されるのか医療センターの見解を伺う。
答 常勤医師の減少、新型コロナ関連補助金が大幅な減額になることを総合的に判断し、厳しい状況となる可能性も想定。

9月定例会

各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。



総務委員会審査概要

◎付託議案件数 4件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等

マイナンバー交付率89・8%と高い交付率を誇る本市であるが、全国的にマイナンバーに関するトラブルが多発している中、トラブルなく高い交付率で推移されていることを評価したい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託議案件数 7件及び陳情1件

◎議案審議結果

議案第92号については、賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案可決
 議案第93号、第95号については、反対討論がなされ、採決の結果、賛

成多数をもって原案可決

陳情第4号については、賛成、反対どちらも討論がなされ、採決の結果可否同数となり、委員会条例第17条の規定に基づき、委員長の決するところにより、採択すべきものと決した。

その他の議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等
 児童館は、安定的に運営され、継続的に専門性を発揮できる職員が配置されることが大切であると考える。物価高騰や人件費増、働き方改革等を考慮した指定管理料に見直されたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数 6件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等

農地利用の姿を明確にする地域計画策定の予算について、「地域計画」と「立地適正化計画」とをうまく融合できると西都市らしい計画を作れるのではないかと考える。関係課の協力を体制を作って取り組んでいただくよう要望する。

■第3回定例会（9月1日～29日）で審議された議案の審議結果

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果
第89号	教育委員会委員の任命について 濱砂晃一 氏	同意 全会一致
第90号	人権擁護委員候補者の推薦について 今井愛子 氏	適任 全会一致
第91号	西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 全会一致
第92号	令和5年度西都市一般会計予算補正（第5号）について	原案可決 賛成多数
第93号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決 賛成多数
第94号	令和5年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決 全会一致
第95号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第2号）について	原案可決 賛成多数
第96号	令和5年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第97号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第98号	令和5年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第99号	令和5年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第100号	令和5年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第101号	令和5年度西都市水道事業会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第102号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第103号	令和5年度西都市公共下水道事業会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第104号	令和5年度西都市農業集落排水事業会計予算補正（第1号）について	原案可決 全会一致
第105号	辺地総合整備計画の変更について	原案可決 全会一致

【議員提出議案】

番号	件名	審議結果
第5号	地方独立行政法人西都児湯医療センターにおける医師確保の取組み強化を求める決議について	否決 可否同数

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名（左から議席番号順）													審議結果			
		太田寛文	森祐子	巻岐秀光	浦田明子	村上修乘	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上 司	井上久昭		狩野保夫	岩切一夫	
第92号	令和5年度西都市一般会計予算補正（第5号）について		○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第93号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第95号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第4号	西都児湯医療センターの医師確保に関する陳情	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択※
議員提出議案第5号	地方独立行政法人西都児湯医療センターにおける医師確保の取組み強化を求める決議について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案否決※

○：賛成 ●：反対

※可否同数のため、議長裁決の結果、不採択と原案否決となりました。

■決算関係議案の審議結果

【決算関係議案】

番号	議案名	審議結果	
		認定	賛成多数
第106号	令和4年度西都市一般会計歳入歳出決算について	認定	賛成多数
第107号	令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定	賛成多数
第108号	令和4年度西都市営住宅事業特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第109号	令和4年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	認定	賛成多数
第110号	令和4年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第111号	令和4年度西都児湯障害認定審査会特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第112号	令和4年度西都市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	認定	賛成多数
第113号	令和4年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第114号	令和4年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第115号	令和4年度西都児湯公平委員会特別会計歳入歳出決算について	認定	全会一致
第116号	令和4年度西都市水道事業会計決算について	認定	賛成多数
第117号	令和4年度西都市簡易水道事業会計決算について	認定	賛成多数
第118号	令和4年度西都市公共下水道事業会計決算について	認定	賛成多数
第119号	令和4年度西都市農業集落排水事業会計決算について	認定	賛成多数

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名 (左から議席番号順)													審議結果			
		太田寛文	森祐子	老岐秀光	浦田明子	村上修乘	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上 司	井上久昭		狩野保夫	岩切一夫	
第106号	令和4年度西都市一般会計歳入歳出決算について	議長の ため表決に 参加しない	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第107号	令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第109号	令和4年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第112号	令和4年度西都市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第116号	令和4年度西都市水道事業会計決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第117号	令和4年度西都市簡易水道事業会計決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第118号	令和4年度西都市公共下水道事業会計決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第119号	令和4年度西都市農業集落排水事業会計決算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○:賛成 ●:反対

決算審査特別委員会審査概要



決算審査特別委員会は、9月21日の本会議で設置され、決算議案14件が本特別委員会に付託されました。

その後、9月22日・25日・26日の3日間におきまして、総務分科会、文教厚生分科会、産業建設分科会が関係資料等をもとに関係課長等の説明を求め、慎重に審査を行いました。また、27日の全体会におきましては、主査報告の後、質疑・討論、採決を行ったところです。各分科会主査報告におきましては、総務分科会からは5個の意見・要望、文教厚生分科会からは21個の意見・要望、産業建設分科会からは4個の意見・要望が報告されました。なお、採決の結果であります。議案第108号、110号、111号、113号、114号、115号の6

件の議案については、全会一致をもって認定すべきものと決しました。また議案第106号、107号、109号、112号、116号、117号、118号、119号の8件の議案については、反対討論がなされましたが、賛成多数をもって、認定すべきものと決しました。

また9月29日、9月定例会閉会后、本特別委員会の正副委員長、各分科会主査が橋田和実都市長に対し本特別委員会で報告された意見・要望をまとめた要望書を提出しました。出席した正副委員長、各分科会主査からは、本特別委員会で報告されました多くの意見・要望等を参酌され、今後とも効率的な予算編成・執行に臨まれることを強く要望いたしました。

決算審査特別委員会正副委員長、分科会主査が審査の過程で出した意見・要望を市長に提出



陳情 審査結果

西都児湯医療センターの医師確保に関する陳情

審査結果 不採択

編集後記

本市は8月22日に「デジタル変革宣言」をしました。西都市議会におきましても議会のデジタル化ということで、議員にタブレットが貸与されました。これまでは定例会のたびに大量の紙の資料が配布されておりましたが、9月定例会からは、これらの資料がタブレットで共有されることとなりました。はじめは議案書や予算書をタブレットで確認をするにあたり、操作に戸惑いや時間がかかることもありましたが、「習うより慣れよ」とはこのこと。たくさん使ってみてだんだんと操作もスムーズになってきました。まだまだ未熟ですが、資料の整理や持ち運びが不要となり、また資料の即共有化ができ、ペーパーレス化と利便性を実感しております。市民の皆さまにとって、住みやすいまちを目指して、デジタル化を活かした議会活動の強化に取り組んでまいります。

— 議会報編集委員会 —

- 委員長 橋口 登志郎
- 副委員長 村上 修 乘
- 委員 森 祐 子
- 〃 志 岐 秀 光
- 〃 浦 田 明 子
- 〃 荒 川 敏 満
- 〃 黒 木 吉 彦
- 〃 狩 野 保 夫